

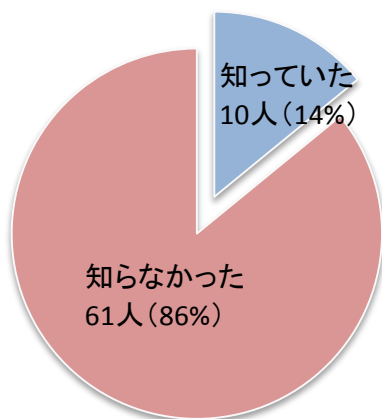
平成27年度 第2次高島市総合計画策定に関する市政モニターアンケート集計結果

第2次高島市総合計画策定に関するアンケート

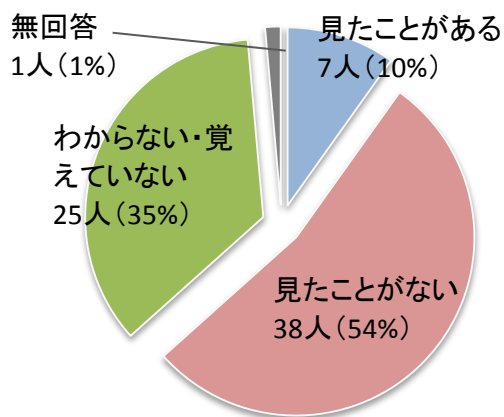
○アンケート期間：平成28年3月7日～平成28年3月22日

○アンケート回答者数：71人

Q 1 あなたは総合計画の存在をご存知でしたか？



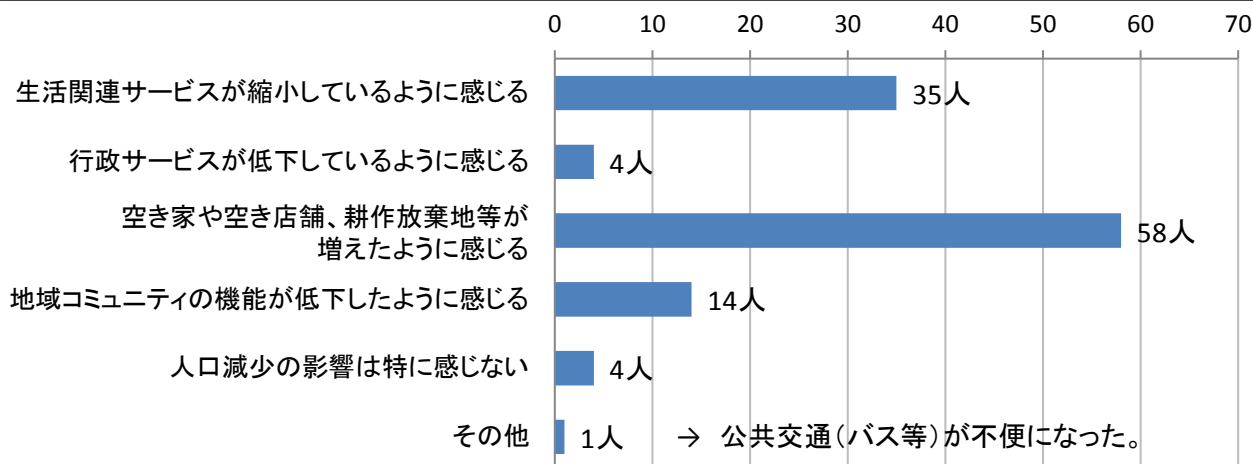
Q 2 あなたは高島市の総合計画をご覧になったことがありますか？



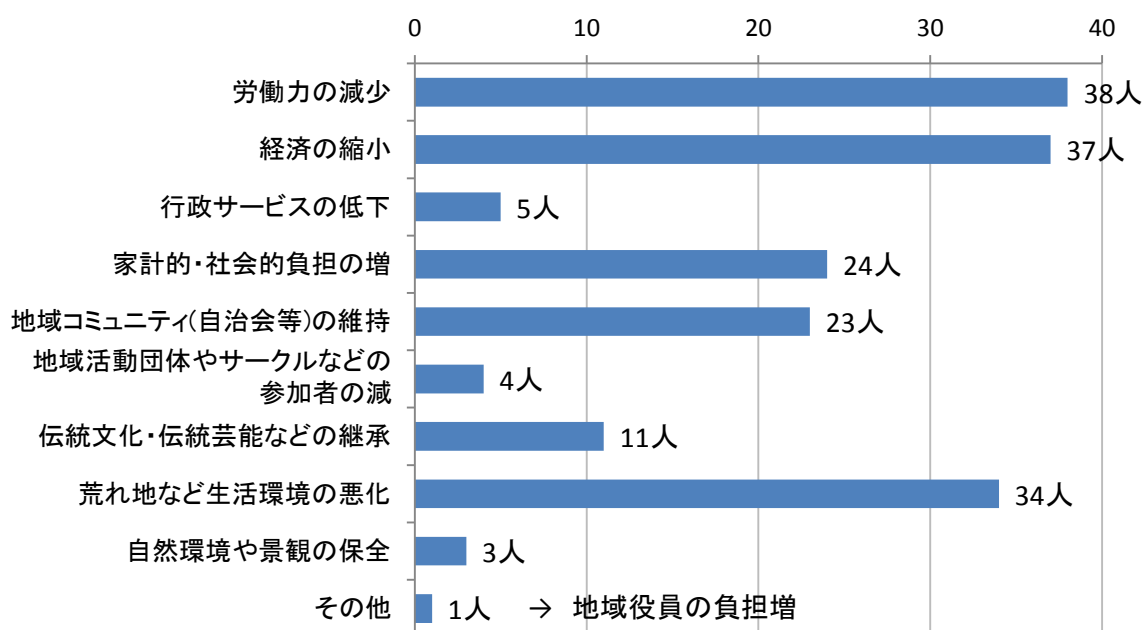
総合計画とは？

自治体の中長期計画として、議会の議決を経て策定します。「基本構想」と「基本計画」から構成し、基本構想ではまちづくりでめざす将来像、基本計画では基本構想実現のための具体的な施策（行政や市民等が取り組むべき項目）を計画として記載します。
高島市の現在の総合計画は『「おたがいさま」と「おかげさま」が対流する「環の郷たかしま」の実現』をまちづくり方針として、平成28年度までを計画期間としています。

Q 3 人口減少について感じておられることがありますか？（複数回答可）



Q4 人口が減少することで起こる可能性のある課題について、あなたが最も問題だと思うものは何ですか？（複数回答可）

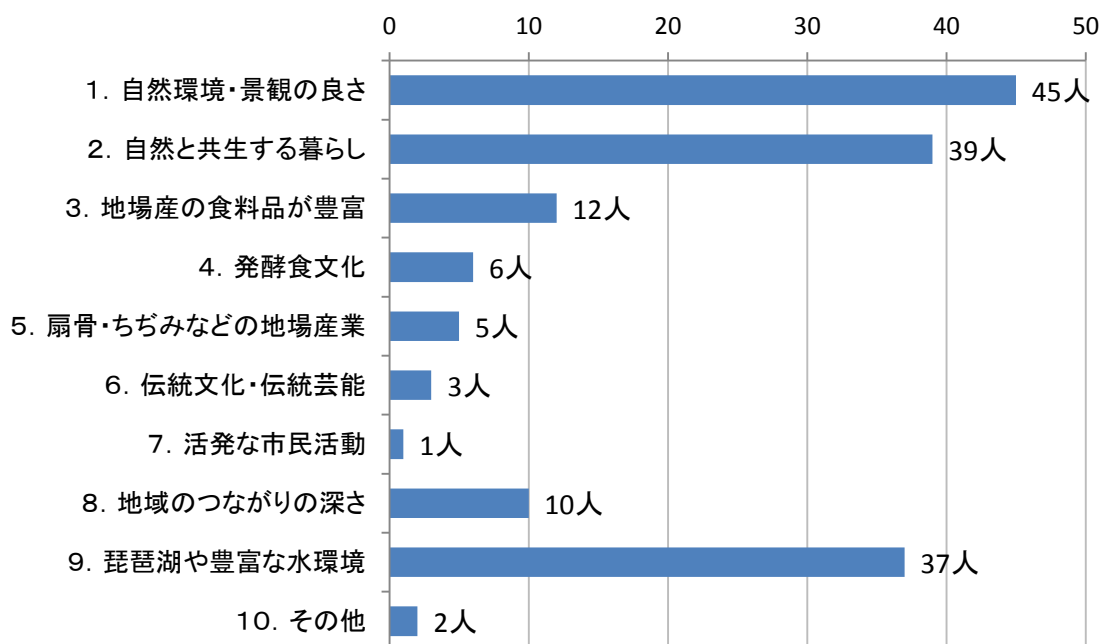


高島市の人口ビジョン

国立社会保障・人口問題研究所の推計では、平成72年に約2.8万人とされていますが、10月に策定した「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では約3.7万人を維持することをめざしています。

人口の減少は避けられない現実としてとらえるとともに、減少幅を最小限にとどめる対策と人口減少に対応する仕組みの構築が求められています。

Q5 あなたは高島市の魅力はどこにありますか（複数回答可）



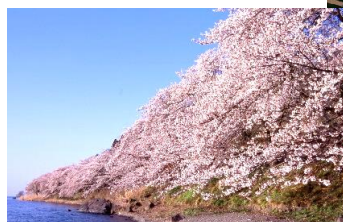
選択	上記を選んだ理由
2,8,9	おたがいさまの気持ちがまだまだ残っています。
1,4,9	ぐると見渡せる景観のすばらしさを感じるたびに、ここで子どもを育てていきたいと思います。
1,2,9	この歳になると春には花が咲き、夏には自然のきれいな川で水遊び、秋には紅葉を目の前で見て、冬はスキーで遊べるこの環境維持が重要だと思います。
5	テレビ等で紹介されていました。
2,3,9	自然が豊かであることが魅力だと思います。その中から生まれる食料があることが、いいところだと思います。
2	やる気があれば、畑などもして生活できる環境であるから。
1,2,9	観光客が増えていると思います（自然を感じ、日ごろの癒しを求めて来られる方）。
2	季節ごとに自然を楽しみながら生活できています。
2,9	厳しい自然の中で適応するように懸命に市民が生活している。琵琶湖や土地の恵みに感謝できる。
1,2,9	湖岸の美しさ。
1,8,9	湖東のまちと比べて、地域のつながりが強いように感じます。
5	高島の伝統文化だから。
1,2,3	山あり川あり湖あり、田畑の面積が豊富なので、自然豊かな環境・景色と、そこで採れた農林水産物に恵まれている。
1,9	山と琵琶湖に囲まれたよい環境だと思います。
1,2,9	山々に囲まれ、鮮やかな緑と清流の豊富さで空気がきれい。
1,8,9	四季の季節の変化がすばらしい。
1	四季を感じられる面では、子どもが育つ環境の中では、すごく良いと思います。
1	四季を通していろいろと自然にふれることができるから。
1	市外の人からよく耳にするのが環境の良さであるから（毎日この地で生活していると実感しないことがある）。
1,2,9	私の考える高島市の魅力は、結局自然環境のみになってしまう。30年前に京都から移住してきた私としては、文化的環境がないのが残念。
1,7,8	もともと県外出身者ですが、上記の魅力を感じて高島市に移り住みました。特に「山・里・湖」がそろっている豊かな自然環境はすばらしいと思います。
1,3,4	滋賀県内の中では陸の孤島と言われてきただけあり、「市内全域に渡り自然が多く残り」、景観の良さはすばらしいと思う。食育に関しても地場の農産物がたくさんあり、発酵食の歴史も先人たちから受け継ぎ継続できていると思う。
2	自然が隣り合わせにあるから。
1,2,9	自然環境に恵まれ、生活しやすいため。
1,9	自分の生活の身の回りをみてそう思う。
1,4,6	昔から身近にあるから、また後世に伝えていかなければならないから。
5	他に誇るものがない。
1,2,9	他府県にお住まいの方が羨ましがっていますし、私自身は幼少のころから環境の良さを感じていました。
1,2,9	大津市に勤務していますが、職場では同僚（約150名）が大津、草津、京都に居住されていて、よく自然を求めて家族（夫、子、孫など）で高島方面を訪れると聞きます。
2,3	農産物が安く買える。地元の豆腐がおいしい。
1,3,9	琵琶湖の恵みと、適度な田舎感。
1,2,9	琵琶湖をはじめ恵まれた自然に囲まれ、四季折々の自然が身近で感じられることが最大の魅力。

高島市の魅力は「自然」にあり

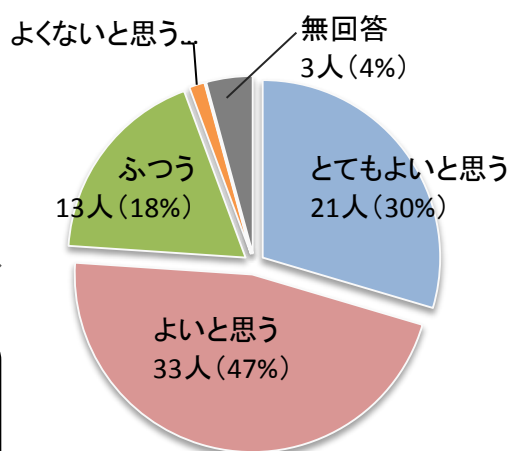
高島市にはさまざまな100選が「15」もあることをご存知ですか？ 海津大崎の桜やメタセコイア並木はもちろん、高島トレイルや畑の棚田などその自然環境の豊かさは群を抜いています。

また日本遺産・重要文化的景観に全国で唯一同じ市で3地域が選定されており、それはいずれも水辺景観であることから、高島市における水環境は、他に類を見ない魅力であると言えます。

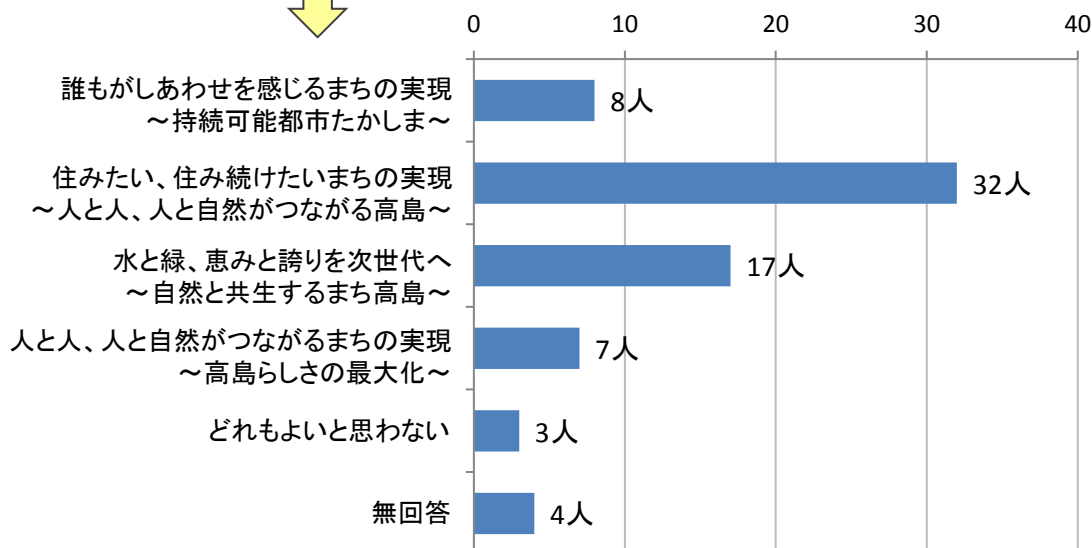
その自然とともにある暮らしそのものや、暮らしから生まれる特産品なども、これからしっかり守っていかねばならない貴重な財産です。



Q6 将来目標像を「水と緑 人のいきかう 高島市」とすることについてどう感じられましたか？



Q7 10年間のまちづくり方針（案）について、もっともよいと思うものはどれですか？

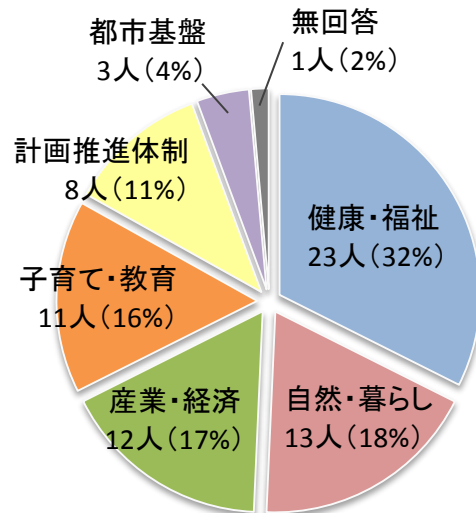


将来目標像については、76%を超える方に「とてもよい」「よい」とご回答いただきました。また、10年間のまちづくり方針(案)については、「住みたい、住み続けたいまちの実現～人と人、人と自然がつながる高島～」を選んだ方が約46%で最多でした。

なお、高島市総合計画はこれからまだまだたくさんの市民の皆さんの「声」をお聞きして策定を進めます。これは現時点での案をお示したものですので、変更することもありますのでご了承ください。

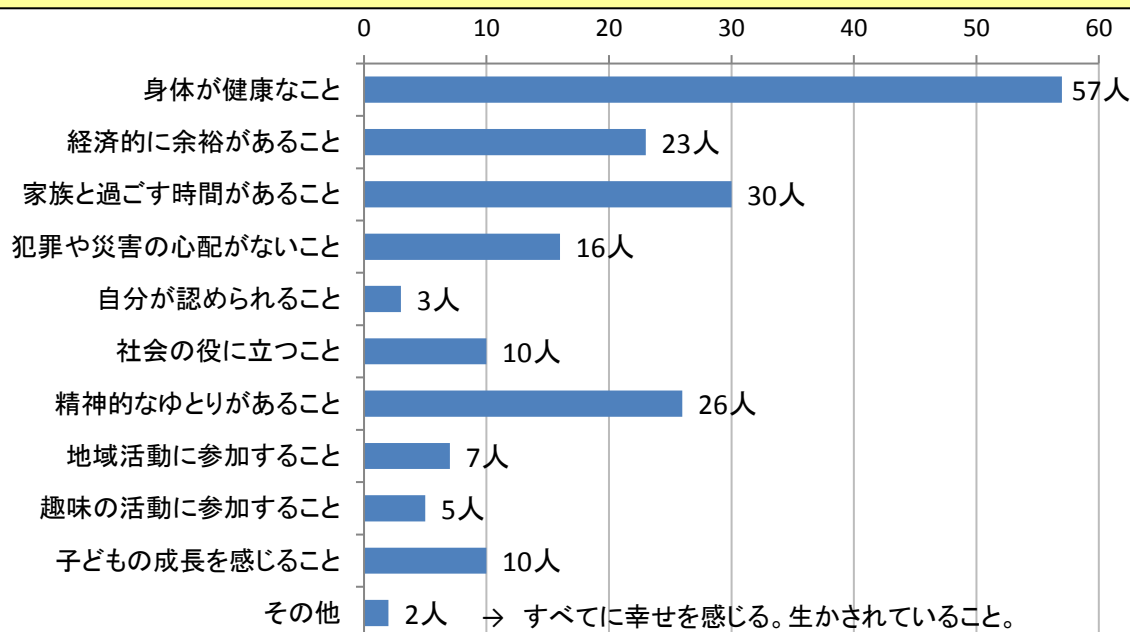
Q 8 5つの政策分野と計画推進体制について、あなたがもっとも重要だと思うものはどれですか？

市政モニターの方がもっとも重要だと感じておられるのは「健康・福祉」分野でした。次いで「自然・暮らし」分野、「産業・経済」分野、「子育て・教育」分野となっています。

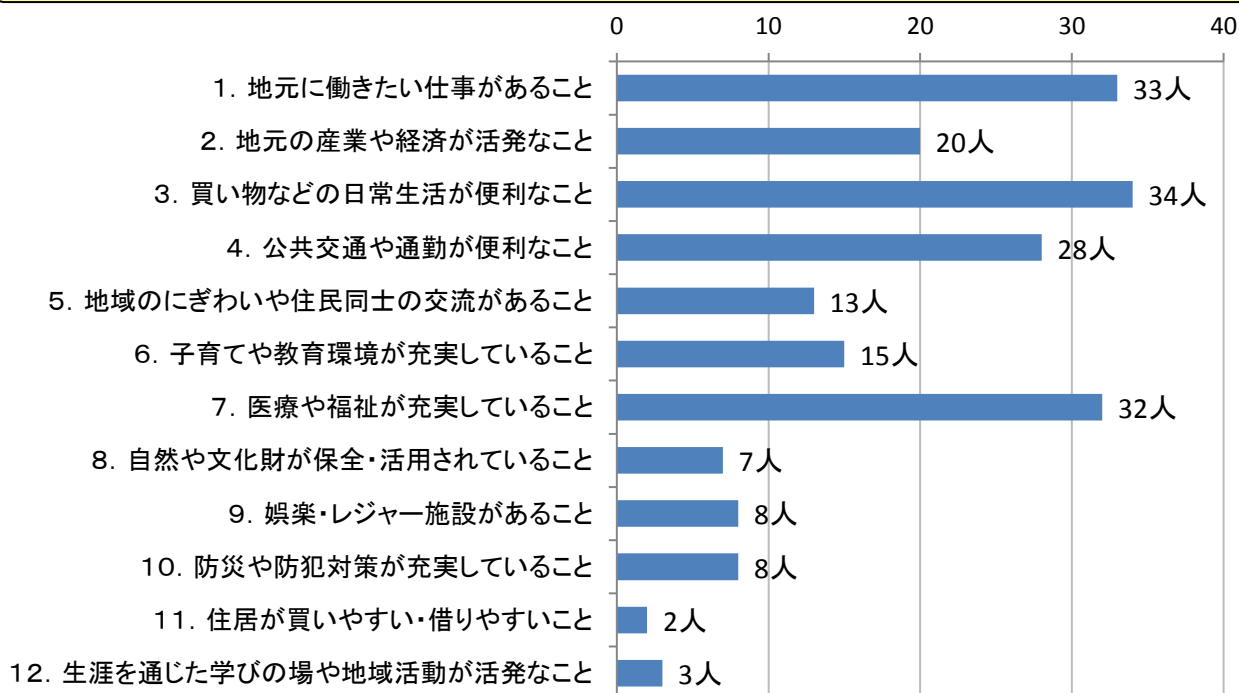


選択	上記を選んだ理由(一部抜粋)
子育て・教育	子育ての重要性を実感しているからです。
子育て・教育	子育てや教育分野に力を入れることが、出生率の低下や人口減少を食い止めると思うから。
子育て・教育	少子化、高齢化、人口の減少のための子どもの増加が未来の大人や人口の増加につながっていると感じるから。
子育て・教育	まち全体で子どもたちを育てていくことが、何より大切だと思う。
健康・福祉	これからの高島市にとって一番大きな課題であると思うから。
健康・福祉	安心、安定した暮らしに欠かせないものだから。
健康・福祉	高齢社会への対応は絶対に必要であり、人口減少抑制にもつながると思われる。
健康・福祉	高齢者が若者の負担にならないための支援の充実。
健康・福祉	身体が第一です。健康でなければ何もできません。その上、これから老年人口が増え、介護のニーズも増えると思うので。
健康・福祉	平成37年に老年人口が最大になるということで、病院や介護などに力を入れるべきと感じた。
産業・経済	基幹となる企業がない。
産業・経済	若者が地元で就職できることが大切だと思う。
産業・経済	収入を得られる環境がなければ何もはじまらない気がします。
産業・経済	他の項目は人が住んでこそその政策だが、そのためにはやっぱり地元に必要な仕事が必要かと思う。
自然・暮らし	おだやかに暮らせる環境がいちばんと思うので。
自然・暮らし	まわりの環境を整えないと何も始められないから。
自然・暮らし	今の自然を大切にしてほしいから。
都市基盤	湖西線存続の危機。
都市基盤	車を運転できなくなっても暮らせるまちに。
計画推進体制	どれも重要ですが、具体的な施策を計画・実行する体制が弱いと絵に描いた餅になる。
計画推進体制	一般市民に対しても、わかりやすく計画が推進しているようにしてもらいたい。
計画推進体制	人口減少の中、財政負担を子孫に残したくない。今は無理してでも健全な市運営を希望。
計画推進体制	全部重要だと思うので、計画推進体制にしました。

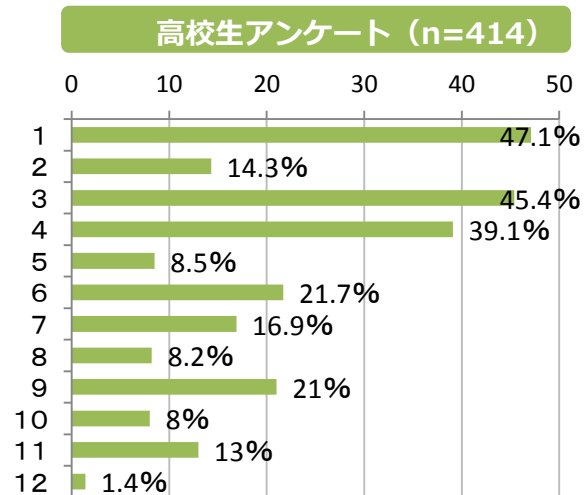
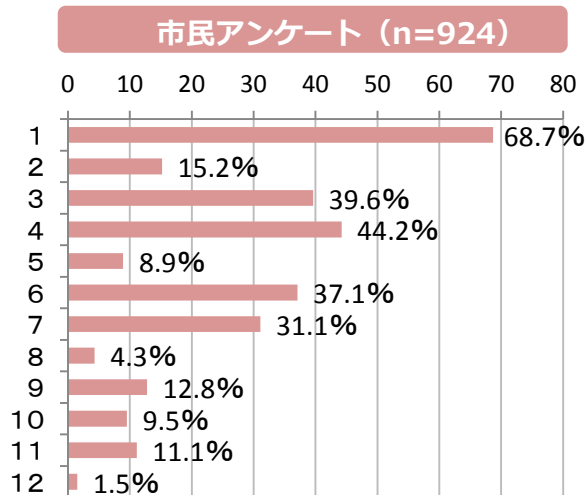
Q 9 あなたが暮らしの中で、最も幸せを感じることは何ですか？（複数回答可）



Q 10 あなたが「住みたい」「住み続けたい」と思うまちはどんなまちですか？（複数回答可）

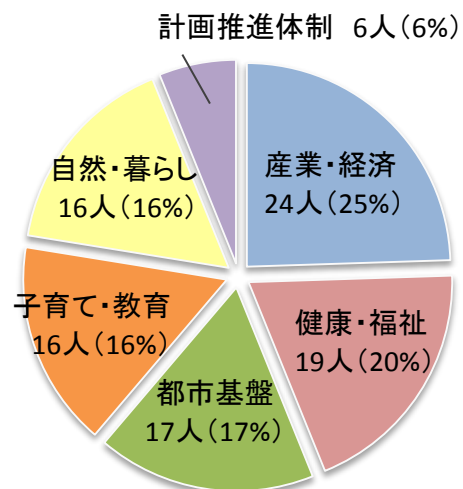


市政モニターの方が「住みたい」「住み続けたい」と思うまちは、「買い物などの日常生活が便利なこと」「地元で働きたい仕事があること」「医療や福祉が充実していること」の順でした。なお、このアンケート項目は市民アンケート、高校生アンケート、中学生アンケートでもほぼ同等の内容でお伺いしていますが、いずれも「地元で働きたい仕事があること」「買い物などの日常生活が便利なこと」が上位となっています。



Q 1 1 政策分野別に、高島市の課題だと思うこと、その解決方法などあなたの思うことをお聞かせください

市政モニターの方が、高島市の課題にあげられた政策分野でもっとも多かったのは「産業・経済」分野で約34%でした。また、課題としてあげられたもののうち、目立った項目は、「雇用」に関するものが16件、「子育て」が11件、「公共交通」が10件、「高齢者福祉」が8件などとなっています。



Q11（つづき） 政策分野別に、高島市の課題だと思うこと、その解決方法などあなたの思うことをお聞かせください。

●産業・経済分野

課題	働く場所の創出、人口減少抑制等		
	市民の役割	市内企業に就職して人口流出を防ぐ	
		地域活動に積極的に参加する	
		市内に来られる方を、地域ぐるみで温かく迎える体制をつくる	
	地域の役割	魅力あるまちづくり、人と人とのつながりを大切にしまちづくり、イベントを開催する	
		地域性を活かした地場産業を創生する、地場産業を活性化する	
		空き家を活用する	
		市外で働く人たちが、安心して子育てできる環境をつくる	
	行政の役割	市有地、遊休地等の利活用を検討する	
		企業、工場、商業施設を誘致する	
		全国レベルのイベント、レジャーを計画する	
		新定住者に、家賃を含めた金銭的支援を行う	
	課題	基幹産業・特産品の創出等	
	市民の役割	地場産業を育成する	
		地産地消、できるだけ地元の商品を購入する	
		日々の生活に木材を取り入れ、そのアイデアを発信する(林業振興の観点から)	
		海の魚だけでなく、湖の魚を食べる(水産業振興の観点から)	
	地域の役割	恵まれた自然を活用し、有機野菜の生産・購入を行うなど、つながりを増やす	
		日々の生活に木材を取り入れ、そのアイデアを発信する(林業振興の観点から)	
		水産まつりを行い市内の人に湖魚をアピールする(水産業振興の観点から)	
		地域で知恵を出す、活力ある高島になるよう協議する	
	行政の役割	Buy Takashima を強力に推進する	
		市外・県外で高島の物産展を開催する	
		地方創生で産業を活性化する	
		市内産木材を公共施設等に有効活用する(林業振興の観点から)	
		水産まつりを行い市内の人に湖魚をアピールする(水産業振興の観点から)	
		高齢者を活用する産業を模索する	
	課題	観光拠点の一本化	
		市民の役割	PRする、自分も参加する
	行政の役割	市の観光拠点を一本化して集客する	

●健康・福祉分野

課題	健康、福祉一般	
	・高齢化進行対策	
	・介護予防、認知症対策	
	・高齢者の孤独を防ぐ、高齢者の居場所づくり	
	・高齢者の健康(運動しやすい環境)づくり、生きがいづくり、健康寿命の延伸	
	・生活支援(貧困、独居、母子家庭など)の充実	
	市民の役割	適度な運動、健康づくりや生きがいづくりに取り組む
		コミュニケーションを図る、気軽に人を頼る、支援が必要な周囲の状況を把握する
		ボランティア精神で社会のために働く、社会参加する
		不足している福祉サービスについて、声を上げる

	地域の役割	1人暮らしや高齢者世帯を見守る、高齢者の集う場所をつくる
		高齢者とコミュニケーションを図る
		地域のつながりを感じられる行事を行う
		介護や認知症への理解を深める
	行政の役割	高齢者の社会進出を支援する、サークル支援や施設利用支援をする
		福祉施設、介護施設の充実
		介護サービスの充実、経済的支援も含め必要な人に必要なサービスが行き届くようにする
		総合支援事業の充実
課題	福祉を担う人材の育成	
	地域の役割	福祉活動への参加を呼びかける
	行政の役割	社会福祉に関する予算の検討
課題	医療の充実等 ・市内医療(病院)の充実、市内受診の向上 ・幅広い診療科設置、産婦人科設置 ・市民病院の質の向上、医療機関の安心度向上	
	市民の役割	問題がなければあまり病院に行かないようにする、病院にかからなくていいよう健康意識を高める
		市内の病院で受診する
		(産婦人科を増やすためにも)若い世代を増加させる
	地域の役割	市内で医療が完結できるよう協力する
		子育てが負担にならない環境づくりに取り組む
	行政の役割	医師の確保
		市民病院の充実、医療や医師の質の向上
		市民病院と他の病院との連携、協力
		市内で受診できず大きな病気で遠方に受診する際に交通費を支援する
		子どもを安心して産める環境づくり
●都市基盤		
課題	湖西線の増便(例:京都発午後4時以降の新快速)、都会へのアクセス向上、強風による運休低減等	
	市民の役割	嘆願する
		市民にできることはない
		できるだけ湖西線を使い経営安定に協力する、月に1回くらいは乗る
	地域の役割	利用しやすい本数を考え、広める
行政の役割	嘆願、交渉する。	
	ダイヤ改正を働きかける、便数を増やす、近江舞子までの運転を(市内へ)延長させる	
課題	バスの本数の増便、JR線路から離れた地域へのアクセス向上、駅へのエレベーター設置等	
	市民の役割	月に1回くらいは利用する
	地域の役割	どのバス停にも椅子1つぐらいは置く
		民営で格安バスなどがあればよい
	行政の役割	コミュニティバスを充実させる
		地域間を結ぶバス路線を充実させる、湖岸道路沿いも充実させる

課題	道路状況改善、国道161号の早期整備、災害発生時のアクセス確保、白鬚～北小松間の混雑解消等	
	市民の役割	湖西道路延長、複線化嘆願 未活用地の積極的提供
	地域の役割	情報提供、日頃の交流
	行政の役割	国や他自治体と協議 早急な道路整備、日頃の情報提供
課題	上下水道が全市に完全整備されていない、トイレが水洗化になっていないところがある	
	行政の役割	トイレの水洗化に対する金銭的支援 上下水道設備の完全設置
●子育て・教育		
課題	人口減少に伴う学校の統廃合、大人数と少人数の学校の格差、教育の充実等	
	市民の役割	生徒数が少ない学校にはできるだけ地域で子どもに関わる、行事に積極的に参加する
	地域の役割	生徒数が少ない学校にはできるだけ地域で子どもに関わる 通学域拡大に対し、登下校の見守りサポートを強化する
	行政の役割	学校間で教育水準に差がないか調べる
		統廃合は、過疎地域への影響を考えて必要最低限にする
		教育にかかる予算を増やす
		子育て世代の移住促進
課題	少子化、子育てへの不安等	
	市民の役割	子どもを皆で育てていける社会にする 子どもに愛情をもって育てる
	地域の役割	自治会や子ども会などの活動を行う
		見守り・誰でも一緒に利用できる場の提供
		母親に対する働きかけの場を多くつくる
	行政の役割	子育て世代の負担軽減（保育料、教育費、市営住宅賃料など）
		保育士の充実 情報を市民にどんどん伝える
課題	いじめ	
	市民の役割	責任を人におしつけない
	地域の役割	温かく見守る
	行政の役割	情報を隠さない
課題	伝統文化を担う子どもが少ない	
	市民の役割	担い手が少ない地域の伝統行事を応援する、地域活動に子どもたちを入れる
	地域の役割	他地域からの子どもも受け入れて伝統文化を継承する
	行政の役割	伝統文化の発信
課題	スポーツ施設の利用促進	
	市民の役割	身近な施設を利用する、スポーツに積極的に参加する
	地域の役割	地区やサークルでコミュニケーションを図る
	行政の役割	民間委託に頼らず管理する
課題	指導者の育成	
	市民の役割	経験者が積極的に協力する
	地域の役割	見守る
	行政の役割	活動場所の提供、人材発掘

●自然・暮らし		
課題	空き家・耕作放棄地対策等の景観保全等	
	市民の役割	管理者が放置しない、管理業者に管理を求める 草刈・水路整備などを行う、環境保全に努める
	地域の役割	草刈・水路整備などを行う、地域の環境保全に努める
	行政の役割	景観整備・保全を行う 定期的に見回りを行う 持ち主・管理者への通達や整備を依頼する、管理業者への指導を強化する
課題	自然の活用等	
	市民の役割	環境保全に努める
	地域の役割	地域の良いところの掘り出し、創出 山の手入れ
	行政の役割	地域の良いところの掘り出し、創出 PR
課題	空き家活用、魅力ある移住促進施策、田舎暮らしや農業体験活動のPR等	
	市民の役割	若い人の移住促進につながるよう空き家を提供する
	地域の役割	移住世帯が地域になじめる環境をつくる
	行政の役割	地域と連携して見学会等を開催する、市のHPなど公的機関から参加者募集する 魅力ある移住促進施策（住宅ローン支援、年齢制限を設けないことなど） 一層のPR
課題	社会関係資本（地域コミュニティ）の再構築	
	市民の役割	家・寺・神社・集落のあり方を考える
	地域の役割	後継者問題にこだわらない
	行政の役割	地域の具体事例に即した多様な対応
●計画推進体制（その他全般的なこと）		
課題	政策分野の横断的な推進、市民に分かりやすく伝えること	
	市民の役割	行政に対する依存関係を見直す 地域への協力 市政に関心を持つ
	地域の役割	行政への協力
	行政の役割	基礎自治体職員としての意識改革、ボトムアップへの意欲を持つ 優先順位を明確に伝えること
課題	高島の活性化、魅力ある高島の構築、一体感の醸成	
	市民の役割	活力と希望ある高島づくりを真剣に考える 一人ひとりができることからまちづくりへの関心を持つ
	地域の役割	活力と希望ある高島づくりを真剣に考える
	行政の役割	地域の具体事例に即した多様な対応 活力と希望ある高島づくりを真剣に考える

Q12 10年後、高島市はどのようなまちになっていると望ましいと思いますか。自由に記入してください。（いただいたご意見の一部を掲載しています）

1	自然はそのまま人口が増えること。
2	将来目標像を「水と緑 人のいきかう 高島市」とするならば、高島市以外の人であっても、人生のある時期、この土地で暮らすことに喜びを感じてもらえるようになると良い。生まれた土地で生涯を全うできる人はもはや少数で、この傾向は日本の社会の構造、家族のあり方が大きく変わるまで続くと考えられる。10年という時間のかたまりの中で考えると、「人口減少を食い止める」ではなく、「人々は流動する」という発想を前提にするのが望ましいように思う。
3	高校や大学を卒業した子どもたちが自宅から働きに行くことができ、地元で生きていける！というまちになっていれば良いと思う。
4	課題はあるにせよ、今の市の状態はそれほど悪くないと思う。私自身京都に職場を持っており、市に戻る時に転職先が見つからず、そのまま京都でとなった経験がある。子どもたちが働き出す時、私のように通勤時間に苦勞することなく、市内に多くの職場が探せるようになっていれば嬉しく思う。
5	地元職場がある、または大津、京都、大阪に働きに出ても家は高島にあることが条件。湖西線の便が良くなることが重要と考える。私の職場には、他府県の方や高島市以外の県内の方が多くいて、市内に定住している。企業誘致が一番の対策と思う（働く場所があれば人は集まる）。
6	誰もが積極的に、年齢に関係なく働けるような企業が誘致され、今より若者が地元に残っていると良い。
7	京阪神へのアクセスがさらに便利になり、地元にも働く場所が増えて、若者が安心して定着する。僻地でも可能な仕事（インターネット関係等）が盛んになり、琵琶湖の東西での格差が解消される。自然を守りながら、適度な人口増で交通網もさらに便利になるとよい。
8	ほどよい田舎感を残した、自然と共生したまち。京都からJRで1時間以内の通勤通学圏（今は帰りの時間帯の電車が不便）として、人が駅前に集うまち。京阪神から豊かな自然を求め、憩いに来るまち。
9	自然景観は今のまま残しつつ、京阪神へのアクセスが便利になり、高島市から市外への通勤が便利になり、若い世代が定住するようになる。森林保全に努め、高齢者も社会参加できるような、いきいきとした社会が実現できたらよい。
10	他の市に行かなくても（買い物、病院等）、今まで以上に安心できる暮らしができるとうい。交通が便利になってほしい。R161が事故等で通行止めになってしまうと、移動にとっても困る。早期にバイパス等を考えてもらいたい
11	交通や商業施設が充実すること。
12	自家用車がなくてもどこへでも行けるまち。
13	自然を大切にまちを美しく保ち、若い世代が高島で楽しみながら子育てができればよいと思う。陶芸、工芸などの職人村を作り移住してもらおう。市全体で桜の木をたくさん植樹し、「桜の街高島」を目指して、南は鶴川から、北は野口まで桜で埋め尽くしてみるのはいかがでしょうか。
14	自然豊かなところで暮らしたいという若い家族が増えること。若い人たちが定住するためには、働く場所が必要。湖西線の充実も必須。古い町は良いとこがたくさんあるが、自分たちと違うものを受け入れるどころか、村八分にしてしまう傾向があるので（それはたぶん自分たちの身を守るという本能的なものなのか）新しいものを受け入れていくという心を持ってほしい。
15	大阪から転入した時、晩夏の夜空の星が非常にたくさん見えて感動した。しかし10年ほど前から徐々に星が見えにくくなり、今では大阪とたいして差がない。ぜひ「星がきれいに見えるまち高島市」に戻ってほしい。
16	自然環境は今のままで、耕作放棄地を有効利用した新しい産業が生まれている。木材の流通が増える。高島ならではの地場産業に魅力を感じ、訪れる人、仕事にする人が増えている。
17	美しい自然や史跡、名所を求めて、人々がたくさん行き来するようになると、すばらしいと思う。また、子どもはもちろんのこと、高齢者や障がい者、そして認知症の弱い立場の人たちに対しても、市が多くの支援をしていただくことをお願いしたい。
18	休農地、休耕田をなくし、荒地のない自然豊かな高島市であってほしい。

Q 1 2 10年後、高島市はどのようなまちになっていると望ましいと思いますか。自由に記入してください。（いただいたご意見の一部を掲載しています）

19	福祉の充実、子どもの親、高齢者にとって結構な政策ですが、無料にせずには多少は負担するようにしてはどうか。
20	ますます進んでいく高齢化社会に向けた充実対応。生活困窮者等の格差の是正。
21	今後、益々増えるであろう高齢者が、買い物や行政サービスに困らないようなまちになってほしい。
22	高齢者が増加する中、介護を必要とされる方が少しでも減り、地域で老後の生きがいになるような取り組みをつくる必要があると思う。
23	働きたいと思う高齢者が働ける職場があると、元気で長生きでき、病院通いも少なくなると思う。そのために、バスを増便して利用してもらおう。
24	安心してらせる犯罪のないまち。
25	地域の伝統的な行事や文化がうまく引き継がれているまち。
26	他の町の真似ではなく、コンパクトでもいいので、地域の特性を活かした清々しいまちになればいいと思う。
27	支所機能が低下して、中央集中で行政サービス低下がないようにお願いしたい。
28	若者が定住し、地域に活力があふれる町になってほしい。旧町村の垣根を越えて、高島市として一体感をもってほしい。
29	行政が、市民からの声を区・自治会からだけでなく、直接聞きいれてくれるような場があること。
30	私は10年後も高島市に住んでいると思う。生まれてからずっと住んでいるという理由だけでなく、自然に恵まれているし、生活面でもそんなに不満があるわけではない。

Q13 「Q12」の10年後の高島のまちを実現するために、あなたが心がけていることや取り組みたいことがありますか？（いただいたご意見の一部を掲載しています）

1	子どもたちに高島市のいいところをたくさん話している。
2	ごみの減量を私も行うが、市も今以上にごみ減量のPRをしてほしい。
3	自然環境の保全活動に参加協力する。
4	毎日が健康に過ごせたらよいと思い、ジョギング等に精を出している。
5	利用者が少ない市営バスを小型にしてはどうでしょう。
6	出来るだけ自家用車を使わず、公共交通を使うようにする。
7	買い物などでは高島市内の店で買い求めたり、交通機関では最寄りの駅を利用している。
8	できるだけ地産地消で地域のもを食べたり、購入する。こだわりの農作物（無農薬や有機）が手に入るような取り組み。ワニカフェさんのこだわり材料を使ったレストランや、美食倶楽部さんの発酵食お弁当などが好きです。
9	耕作放棄地に水施設のいらない雑穀を植えてみたらどうかと思っている、獣害の問題はクリアしないといけないが、健康志向の高まりで日々の食卓や特産品などに活用できないだろうか（栄養価がとても高いらしいので）。
10	荒地、休耕田をなくし、食料自給率を高めなければならないと思う。
11	地域活動に参加する、スポーツ・イベントに参加する。こうした活動に参加している語学能力やスポーツ能力のある人々を中心に、地域の人々で対外的なイベントなどを開催し人々を集め、魅力あるまちづくりができないかと考えている。
12	子どもに、地域活動に参加するよう呼びかけたり、地域の関わりの中で、どのような行動をすればよりよいまちづくりになるか考えさせている。
13	エコ、ごみの分別を行う。地域の楽しい行事を増やし、参加する。
14	地域の人や子どもたちへの積極的な声かけ（あいさつ等）を心がけている。地域活性化のためにはコミュニケーションが大切だと思う。
15	困っている人、悩んでいる人の相談に乗り、支援する。近隣同士の助け合い。
16	60過ぎですが、今も働いている。また、なるべく高島市内で買い物や外食し、贈り物には高島の特産品を送って喜んでもらっている。
17	都市化を目指すことは、高島市の魅力である自然を破壊することになるため、望ましくないと思う。地域性を活かした産業の創造が必要ではないかと思う。
18	子どもはもちろんのこと、引きこもりの人々や障がい者、認知症の人たちにもやさしい町となるため、富山県のように介護と放課後デイサービスと障がい者の作業所が一体となるような施設ができることを目指している。
19	一人暮らしの高齢者に声をかけたり、気になることがあれば近所の方と訪ねている。車がないと暮らすのに不便を感じるこの地域で、協力して安心して暮らしていくことのできるまちであってほしい。
20	幹線道路沿いの集落内の歩道の整備作業、ごみ拾いに積極的に参加している。仕事として、買い物代行で、お困りの方のお役にたてるように努力している。
21	食にまつわるような、「共有する柔らかい文化」への高島市の取り組みは大変興味深いものがある。一方で、山、田畑、家屋などの「所有権」に関わる「硬い文化」がその歩みを止めてしまっていると感じる。この先しばらくは、「持つ」ことを避け「お借りする」ことで、止まっている流れを取り戻し、「水と緑 人のいきかう 高島市」を実現できないだろうか？
22	子どもに、たくさん自然と触れ合わせたい。自身が持っている資格（介護士）を活かし、今後、貢献できればと思う。
23	特に今はない。
24	一個人でできるようなことではないので、特にない。